

る十七日縣令による米穀調査
規則を公表即日實施、調査の
方法は全縣各戸に申吾書用紙
を配付し市町村吏員、市町村
會議員、區長及び部落常會長
等の中から市は五十名以内、
町村は廿名以内の調査員を選
任し縣派遣の指導員と協力市
町村毎に取組めたものを縣へ
提出する此の申告違反者は五
十四以下の罰金若くは拘留ま
たは料科に處せられることに
なつてゐるが此の調査の正確
を期するため及び趣旨を徹底
せしむべく来る廿三日午前十
時から石城郡は平市幽体事務
所に縣の指導者が出現して協
議會を開催することになつた

鐵道署越東線高間村の愛谷地内赤井停車場川中子線には短小距離に二ヶ所の踏切を存し既に自動車事故を出だし交通

魔の踏切が
愈よ除かれる
愛谷換線近く着工

戦地の便り

菜花満開雪クリーケ

拜啓、だんく 晩かになつて参りました。御手紙有難う御座います、厚く御禮申上げます、皆々様相變あります御元氣の由戦地の空より故郷を眺め安堵致し居ります益々御多幸あらん事を御祈致します、小生も御隣様にて毎日軍務に精勤致し居りますから他事ながら御休心下さい、中支はもう菜の花が満開、雲雀は愉快そう天高く舞ひあがり蛙は餓い声が青々と繁り…故郷なら芽が青々と繁り…故郷なら

事に對し此ほど内務省土木本
並に柴田技手同道大浦村仁
田川護岸工事(大字玉山地内
及び上遠野村柿の木澤橋(此
ほど竣工近く落成式を舉げ
もの)その他の中間検査を終
はれたが何れも無事に通過す
る。平警察署出身

中等校の野球戦 縣下の覇は平商
決勝を残してゐた報知新聞 催縣下中等校野球戦は昨十
日午前九時から磐中校庭にて若松商業の遠征を迎へて
中…若商の準決勝に八對五、
若商勝つ、午後二時から愈
平商業と若商との決戦に入
當日は近頃にない好晴に恵
れた日曜なので球場周囲堵
斯くして車中の人となつた
急行列車に乗ると一段文化
の人物になつた様な氣持が
るものである。列車に寝台
食堂もあつてホテルに車が
いて走つてる様であるし、
舍の小さな停車場などは見
きもしないでぶつ飛ばして
るし、同乗の旅客は旅慣れ
一舉一動草書の如く角がな
感覺で物を判断する限りに

磐崎村の火事
石城郡磐崎村の西郷字落合
上寅治方から昨十九日午後
時頃發火し同家を半焼して
時鎮火した原因は子供の罪
損害六百圓

石城郡大浦村の狐塚精米業
山準之助翁(夫)は昨十九日
後一時半頃平市糸屋町から
の前の平税務署に至る街路
於て現金十六圓五十五錢在
茶色の蓑口を遺失し悉く
て平署に届出た

十一月夜縣下齊に
お米の調査を行ふ
需給調整の根本対策樹立に
申告違反は拘留か罰金
縣は現下の米穀事情に對し來
る卅日前零時を期して一齊
に現在高の調査を行ふことに
も短縮され非常な交通利
用が出來る

河川工事検査

さが味へられ我が將兵は克
び勇んで聖戦の目的達成、
邁進してゐる次第で御座
ます、清次君にはこの度
出度く試験に合格、年來
希望達成なされたとの由
悦び申上げます、益々勉
して御出世あらんことを
祈り致します、小生等も
即ちをなら天張り宛ぞ

平市の鐵北仲間町に新設さる無集配三等局は此ほど式を擧げたが落成と同時に月十二日から事務開始の旨あつて同局の管區は北白銀、鯨岡、中壠、大室方面約七戸で局長は既報せる元平署勤めた渡部済巡査部長、局二名をもつて一般の郵便事務を執る

とき
頃平
公園
（十
九日は前記住吉櫻浪子の
價十五圓一枚、更に昭和
年に福島市を徘徊中同市
岡崎多七方玄關先にあつ
のしごき一本を盜んだ餘
三折
自白したが東京の某社に
を勤めてゐる娘に面會に
土産慾しさからと語つて

利府華連

支那單語

戦績は十對〇で遂に平商にて了結され、毛賀少佐の軍旗を制せられ、敗北した。同校の獲得するところとなつて午後四時過ぎ幕を閉ぢた。

勝はして工費三萬圓をもつて其に決し來六月一日から着工することになつた

石城郡赤井村の日曾撰炭
田縣生れ柴田福治(丟)が
日平市遊廓住吉櫻に登櫻
米若にふられての歸途同
羽織價甘圓を索取し平署
舉取調べの結果二月八日

卷之二十一

